

サステナビリティマネジメント

キングジムグループ サステナビリティ基本方針

2024年6月期を最終年度とする第10次中期経営計画の中で、サステナビリティを重要な経営課題として位置づけています。2022年3月、サステナビリティ向上のための取り組みの基本的な方向性を明示するために、「キングジムグループ サステナビリティ基本方針」を策定しました。

当方針は、経営理念「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」に表されている、当社が長年取り組んできた社会貢献、およびESG（環境・社会・ガバナンス）の観点で構成されています。

キングジムグループ サステナビリティ基本方針

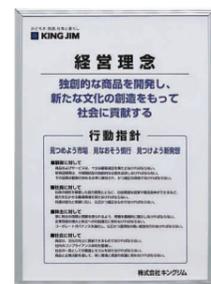
キングジムグループは、企業活動を通じて持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な発展を目指します。

- 仕事と暮らしを便利で快適にする商品を開発し、世の中に新しい価値を提供することで社会に貢献します。
- 社会の責任ある一員として資源の有効活用を積極的に行い、企業活動の全域で地球環境の保全につとめます。
- 多様な人材がそれぞれの能力を最大限に発揮し、自分らしく活躍するための職場環境づくりを推進します。
- 健全なガバナンスにより社会から信頼される経営を行い、継続的な企業価値の向上を目指します。

サステナビリティ推進体制

サステナビリティ向上の取り組みを推進するために、2021年9月にサステナビリティ担当役員を選任し、部門横断的な組織「サステナビリティ委員会」を設置してマネジメント体制を整備しました。また、同時期に経営企画部内にサステナビリティ推進課を設置し、サステナビリティの旗振り役として活動を行っています。

国内外グループ各社のすべての事業所に「経営理念」「キングジムグループ サステナビリティ基本方針」「環境方針」を掲示して浸透を図り、日々の業務の中で意識して行動することを目指しています。



経営理念



キングジムグループ サステナビリティ基本方針 環境方針



サステナビリティの意識向上への取り組み

社内キャンペーン「SDGs大作戦」

サステナビリティに対する意識を高め、SDGsをより身近に感じるためのキャンペーン「SDGs大作戦」を開催し、キングジム社員全員と国内グループ会社社員の計750名が参加しています。毎日の生活の中で気軽にできる取り組みを各自一つ以上を選んで申告し、実践しています。



取り組み

- ① マイボトルの活用
- ② マイバッグの活用
- ③ 階段の利用
- ④ こまめな消灯
- ⑤ 節水



啓発活動

社内各所にサステナビリティに関するポスターを掲示し、また、役員・社員に向けた勉強会を実施しています。今後はさらなる社内意識の向上を図るため、eラーニングなども実施予定です。

社内オリジナル漫画「さすてにゃ通信」

キングジムグループ全員のサステナビリティ活動への理解を深め、積極的・自発的な参画を促進するため、サステナビリティに関する用語、キングジムや他社のサステナビリティの取り組みを紹介するオリジナル漫画「さすてにゃ通信」を発行しています。

社内有志が制作する「さすてにゃ通信」内に登場するキャラクターは、社内で大人気となっており、サステナビリティ活動の社内啓蒙の一助となっています。



社員に当社商品パターン コンビニエコバッグを配布

「SDGs大作戦」の取り組みの一つ、「マイバッグの活用」でも使用できる当社商品パターン コンビニエコバッグを社員全員に配布し、買い物におけるマイバッグの使用を推進しています。



マテリアリティ(重要課題)

独創的な商品の開発による社会貢献



世の中にない新しい価値の提供／経営理念の実践と社内浸透

経営理念「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」のもとで、世の中にない商品をつくり続けています。当社は、「キングファイル」「テプラ」「ポメラ」と、そのジャンルのパイオニアとして、新しい市場を開拓してきました。時代のニーズに合わせて、「誰かがすごく欲しいものをつくる」という観点から独創的な商品を生み出すために、商品開発を行う上で大切にしていることがあります。

「ファーストペンギン」

ペンギンには、最初の1羽が餌をとるために海に飛び込むと、群れがその後に続く習性があります。様子を見て、安全そうだと確認してから飛び込んだほうがリスクが少ないため、賢い生き方といえるかもしれません。最初に飛び込むペンギンは、大きなリスクを負う反面、大きく、おいしい魚を真っ先に食べることができます。マーケティング用語で「ブルーオーシャン」に似たことばですが、「世の中にない商品をつくり、新しい市場を生み出すためには、勇気を出して最初に飛び込まなければならない」という意味です。「ファーストペンギン」は当社が目指す商品開発の考え方です。

「多数決はしない」

商品化を決定する開発会議で、多数決は行いません。10人中9人が欲しいと思わなくても、一人が熱烈に「欲しい」と思えば、市場に需要があると考え、商品化が承認されます。

「失敗を恐れず、ホームランをねらえ」

新商品の中には売上が伸び悩むものもありますが、10個のうち1個がヒットすれば、残り9個分の失敗を取り返すことも可能です。失敗を恐れて凡打を続けるより、「キングジムらしい」商品で一発ホームランをねらいます。

品質管理の徹底

当社は、お客様に安心して商品を使っていただけるよう、商品の使いやすさや安全性・信頼性を測定する試験を行っています。JISで定められた規格や電気用品安全法、VCCI^{*1}、電波法、RoHS指令^{*2}などに準拠した設計を実施し、かつ商品が満たすべき品質の要求事項をまとめた当社の『設計仕様標準書』に基づき、お客様に安心してご使用いただける商品づくりを心がけています。商品の発売後も、工場や製造元から出荷された商品に対して、JISで定められた抜き取り検査や、必要に応じて全数検査を実施し、品質が確保されているかを検証しています。また、商品在庫の抜き取り検査を行い、品質が維持されているか確認を行っています。

^{*1} VCCI: Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment の略。情報機器が発する電波の規制内容を協議する業界団体。また、同協議会によって定められた、電子機器から発生する妨害電波に関する規格。
^{*2} RoHS指令: Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment の略。EU(欧州連合)内にて取り扱われる電気・電子機器に含まれる特定有害物質(10物質)の使用を規制した指令。

知的財産の獲得と保護

当社は、「キングジムグループ コンプライアンスプログラム」に従い、キングジムグループの知的財産権(特許権、実用新案権、意匠権、著作権、商標権など)を尊重するとともに、他者の知的財産権を尊重しています。

「商品開発規程」に知的財産の取得、管理、活用について定めています。開発部門と知的財産部門は、企画・設計段階において知的財産権の調査を行い、第三者の知的財産権の侵害を防止するとともに、当社の独創的な商品やブランドに関する知的財産権の取得を積極的に行っています。

また、職務発明報奨の制度を社内規程として定め、当社の発展に資する発明を奨励しています。

重要テーマ

- 世の中にない新しい価値の提供
- サステナブルな商品の開発
- 品質管理の徹底
- 知的財産の獲得と保護
- 経営理念の実践と社内浸透



サステナブルな商品の開発

● 環境配慮商品

当社は、環境方針に基づき、商品の企画・開発・設計において環境への配慮を実践しています。商品の「製造・使用・廃棄」の各段階における環境配慮項目にキングジム独自の基準を設け、商品の環境情報を「環境マーク」を用いて総合カタログなどにわかりやすく表示しています。「環境マーク」やエコマークなどの第三者機関の認定、グリーン購入法などに適合した商品を社内で「環境配慮商品」と定めています。

2022年6月期の環境配慮商品の売上高比率は、77%となっています。今後もこの比率を高い水準で維持していきます。

環境配慮商品
売上高比率

77%

環境マーク



※マークは一例です。
※環境マークはキングジムの登録商標です。

エコマーク



※認定番号は一例です。

グリーン購入法適合品



● SDGs達成に繋がる商品開発

当社は、サステナブル(持続可能)な社会の実現のため、国際社会共通の目標であるSDGsの達成につながる商品の開発を行っています。

電子メモパッド

「ブギーボード」

何度でも書いて消せる手軽なメモパッドで、筆談でのコミュニケーションや計算問題などの学習ツールとしてお使いいただけます。



アルコールディスペンサー

「テッテ」

センサーで手を感知して消毒液を自動で噴射します。感染症の予防につながる商品です。



開発担当役員からのメッセージ

「おどろき、快適、仕事と暮らし」で新しい価値創造を。

創業以来、「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」という経営理念に基づいて事業を成長させてまいりました。お客様にとっての問題解決や新しい発見を最初にご提供していく企業であり続けたい、という思いで商品を開発しております。

これまで文具事務用品を中心に事業を展開してまいりましたが、昨今の働き方の多様化や市場環境、お客様のマインドの変化を成長機会ととらえ、「新しい暮らし」に着目し、お客様に喜んでいただける独自価値ある商品を開発し、事業領域の拡大に努めてまいりたいと思います。今後は、より一層環境やSDGsを意識したサステナブルな商品を開発し、お客様への価値提供とともに社会に対しても貢献してまいります。

取締役 常務執行役員 開発本部長 木村 美代子



マテリアリティ(重要課題)
環境への配慮

キングジムグループは、社会の一員として環境のために責任ある行動を実践するため、「環境方針」を制定しています。

当社グループは、経営における環境活動の基盤として「環境憲章」を定めていました。環境課題に対する社会的要請やグループ会社の増加による事業領域の拡大を踏まえて、2022年3月に「環境憲章」の内容の見直しを行い、名称を「環境方針」に変更し、サステナビリティに関する新たな方針としています。

環境方針

キングジムグループは、商品を供給する立場から環境への配慮を経営の重要課題としてとらえ、資源の有効活用を積極的に行います。社会の責任ある一員として、自然との共生を目指し、企業活動の全域で地球環境の保全につとめます。

環境行動指針

■企画・開発・設計

企画・開発・設計において、環境への配慮を実践します。

■調達・生産・販売・物流

持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低減につとめます。

■再生利用

循環型社会の実現を目指し、資源の有効活用を推進します。

■法規制の遵守

環境に関する法律や規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

■意識の向上

社員一人一人の環境に対する意識向上を図り、継続的な環境保全活動に取り組みます。

CO₂排出量の低減

● 気候変動への対応

地球温暖化による気候変動は、我々と地球環境の持続性を脅かすリスクであり、我々のビジネス、お客様、サプライチェーンにも影響を及ぼしています。それらの気候変動に起因するさまざまな問題に対し、キングジムグループとして役割を果たさなくてはならないと考えています。

今後、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に基づく情報開示を進めてまいります。

●キングジムグループCO₂排出量 (Scope 1 + 2)

2021年6月期

11,769 t-CO₂

2022年6月期

10,709 t-CO₂

重要テーマ

- CO₂排出量の低減
- 資源循環 (3R)
- 廃棄物管理



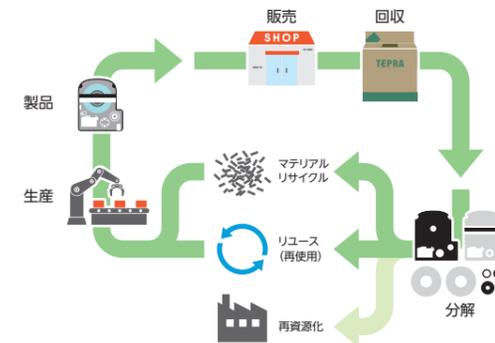
資源循環 (3R)

キングジムグループは、商品のライフサイクル 3R[Reduce(削減)・Reuse(再使用)・Recycle(再資源活用・再資源化)]の視点で、環境への負荷をより軽減するための商品作りに取り組んでいます。



● 「テプラ」使用済みPROテープカートリッジの回収

「テプラ」PROテープカートリッジはリユース(再使用)可能な仕様です。回収後の分解・再生は、当社で行います。市場から回収した使用済みPROテープカートリッジは、リサイクル技術を活用して再資源化を行い、「廃棄物ゼロ」を実現しています。



● キングファイルスーパードッチ<脱・着>イージー

古くなったファイルを「表紙」と「とじ具」に分け、それぞれ別売の「保存とじ具」と「替え表紙」に取り付けて再使用できます。



廃棄物管理

世界的に廃棄物の量が増加し続けています。当社グループでは、プラスチックや段ボールなど、資源の有効利用を進めることで、廃棄物の削減やリサイクルに取り組んでいます。

● 端材プラスチックの再利用

当社グループの海外工場では、ファイル生産時に発生する端材プラスチックを溶解し、もう一度原料にすることで、再利用を行っています。

● 段ボール回収

インターネットで家具販売を行っているぼん家具の「商品の組み立てサービス」や「設置サービス」提供時に、作業を委託している運送会社様のスタッフが、発生する段ボールなどの梱包材をすべて持ち帰ります。回収した段ボールの一部は再資源化し有効活用されています。



マテリアリティ (重要課題) 多様な人材の活躍推進

個々人の嗜好が細分化した現代、キングジムグループは新市場のパイオニアとして、現在も新たなビジネススタイルの在り方を模索し続けています。性別、年齢、ワークスタイル、障がいの有無など、多様な背景を持つ従業員に対応した労働環境を提供し、その従業員の発想を取り入れることが事業環境の変化への対応と会社の成長につながると考えています。多様な人材がより自分らしく、より高いモチベーションを保ちながら働ける会社を目指し、これからも社会環境の変化に対応した制度の導入や、従業員のサポートを行ってまいります。

ダイバーシティ推進

● 女性活躍推進に向けた取り組み

キングジムでは、2030年までに女性管理職比率を20%にする目標を掲げており、現在の女性管理職の割合は5.48%です。女性の管理職登用において、結婚・出産・育児を機とした退職による男女間の平均勤続年数の差異などを課題としてとらえた上で、性別に関係なくワークライフバランスを向上させる社内制度を整え、従業員の誰もがライフイベントを経ても仕事を続けられる環境を目指しています。

<取り組み例>

産休・育休前後面談	産休・育休中社員へ会社情報メールを配信
ライフイベント発生時に利用できる社内制度・手続きをまとめたライフイベントハンドブックを配布	
妊娠中の社員や、産休・育休後復職する社員を迎える部署の直属上司用にイクボスマニュアルを配布	

● 障がい者雇用

障がい者の雇用に継続的に取り組んでおり、キングジムの2022年6月時点の障がい者雇用率は3.46%でした。法定雇用率(2.3%)や、全民間企業の実雇用率(2.20% 2021年)を上回る雇用率を維持しています。また、障がいをもつ従業員へのサポートを充実させたサテライトオフィスが埼玉県川越市にあります。

● ジョブローテーション

キングジムでは、さまざまな経験の機会を創出することで従業員のスキルアップを図るため、また、従業員がその可能性を最大限に発揮できる環境づくりのため、10年で2、3部署を目安に、部署異動を行っています。

● 自己申告書

年1回、キングジムグループの全従業員(派遣社員含む)を対象に、現在の仕事の状況、将来のキャリア、職場の人間関係、経営全般に関することなど、あらゆる事項について自身の考えを経営トップに直接伝えることができる制度です。内容は社長と一部の役員の間でのみ共有され、適切な人員配置や職場環境の改善につなげています。

人材育成

● 海外派遣研修制度

グローバル人材を育成するため、毎年、若手社員の中から選抜し、海外グループ会社へ1年間の研修生として派遣しています。研修生は文化の異なる国で働く機会を通して成長し、帰国後、その経験を活かして仕事に取り組んでいます。

● eラーニング・外部集合研修・通信教育

「ビジネススキル」「語学」「マネジメント」「労務」「メンタルヘルス」など、幅広い分野のコースから、従業員が費用の負担なく自由に受講できるeラーニングコースや外部集合研修を用意しています。また、人事制度上の昇格要件や自己啓発のためのビジネススキル・語学の通信教育も取り揃えています。

労働安全衛生

キングジムグループは従業員の安全を第一に考え、労働安全衛生の向上に努めています。安全衛生委員会を設置し、キングジム本社と松戸事業所において事業所総括安全衛生管理者が安全管理者、衛生管理者などを指揮し、従業員の安全と健康を守る取り組みを行っています。

ヘルシーウォーキング

1か月間、1日8千歩を目指して参加者を募り、結果を社内で共有するウォーキングイベントを行っています。毎回参加賞として、キングファイル君がデザインされたオリジナルグッズを贈呈しています。

重要テーマ

- 労働安全衛生
- ダイバーシティ推進
- 人材育成
- ワークライフバランス推進

ワークライフバランス推進

● 育児支援

育児と仕事の両立を後押しする取り組みを実施しており、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣より「くるみん」認定を受けています。



● 育児・介護休業など

キングジムでは、育児休業のうち5日間に有給とし、取得を促進しています。本人または配偶者が妊娠した際には個別に声掛けを行い、取得者の声を社内外で広報するなど、育児休業を取得しやすい風土づくりに努めています。所定外労働・時間外労働・深夜業の制限、子の看護休暇、短時間勤務においては対象を法定以上の「子が小学校3年生を修了するまで」としています。介護が事由の場合も、介護休業・介護休暇に加え、所定外労働・時間外労働・深夜業の制限、短時間勤務制度を利用できます。

育児休業後の従業員の復職率および定着率 100%
※男性社員の実績も含む

● 時間外労働削減

キングジムでは、時間外労働を削減するため、下記の取り組みを行っています。
①最終退社時刻20時5分の実施 ②毎週水曜日はノー残業デーを実施 ③時間外労働が月45時間を超える従業員の上長への警告

● 年次有給休暇取得日数向上

キングジムでは、年次有給休暇取得促進のため、取得日数の目標を定めて従業員へ周知しています。2023年6月期は全従業員最低7日間取得することを目標としています。毎月、各部門の管理職へ部下の取得状況を配信し進捗確認することで、積極的な取得を促し、取得日数のさらなる向上を目指しています。

ほかにもさまざまな制度を導入

社長とお茶会	テレワーク勤務	時差勤務
ノー残業デー(毎週水曜日)	メモリアル休暇	リフレッシュ休暇
積立有給休暇	ボランティア休暇	その他特別休暇

※コロナ禍において進んだテレワークや時差出勤ですが、当社では引き続き推奨しており、これからの時代の働き方を追い求めていきます。

人事部長からのメッセージ

時代の変化に対応した、攻めの姿勢の人材戦略を。

「まずはやってみよう！」
これは、キングジムグループの商品開発のみに特化した言葉ではなく、人材戦略においても同様です。労働人口の減少、コロナ禍、急激な円安など、前例のない事態に対応するためには、多様な人材の活躍が必要不可欠であり、そのためには社内制度も柔軟に変化させ、従業員をサポートしていくことが重要だと考えます。また、リスクを回避することも重要ですが、すべてのリスクを避けていては、その先にある大きな成果をあげることができませんので、問題を解決しながら新たなことにチャレンジできる人材に育てていくことも重要となります。これからも、従業員が持つ能力を最大限に発揮できる職場環境を作ってまいります。

上席執行役員 管理本部副本部長 兼 人事部長 小島 祐介